

2019年3月期決算の概要と 2020年3月期見通しについて

2019年5月14日
東レ株式会社

目次

I . 2019年3月期決算の概要	(P3-17)
II . 2020年3月期連結業績見通し	(P19-22)
III . “プロジェクト AP-G 2019”の進捗状況	(P24-30)
IV . 参考資料	(P32-38)

I . 2019年3月期決算の概要

2019年3月期連結損益概要

億円

	18年3月期 通期	19年3月期 通期	通期 増減
売上高	22,049	23,888	+1,840 (+8.3%)
営業利益	1,565	1,415	-150 (-9.6%)
(売上高営業利益率)	7.1%	5.9%	-1.2 ポイント
経常利益	1,523	1,345	-178 (-11.7%)
特別損益	▲ 157	▲ 71	+86
税前利益	1,366	1,274	-92 (-6.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	959	794	-165 (-17.2%)

1株当たり 当期純利益	59.97円	49.61円
1株当たり配当金	15.00円	16.00円

ROE	9.1%	7.1%
ROA	6.3%	5.3%

為替レート	(18/3)	→	(19/3)
<円/US\$>			
期中平均	: 110.9	→	110.9
期末	: 106.2	→	111.0
<円/ユーロ>			
期中平均	: 129.7	→	128.4
期末	: 130.5	→	124.6

営業外収支

億円

	18年3月期	19年3月期	増減
営業外収益	191	219	+28
受取利息及び配当金	52	69	+17
持分法による投資利益	92	96	+4
雑収入	46	54	+8
営業外費用	▲ 232	▲ 288	-56
支払利息	▲ 51	▲ 72	-21
新規設備操業開始費用	▲ 68	▲ 48	+20
休止設備関連費用	▲ 48	▲ 88	-39
雑損失	▲ 65	▲ 81	-16
営業外収支	▲ 42	▲ 70	-28
金融収支	1	▲ 3	-4

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	18年3月期	19年3月期	増減
特別利益	45	223	+178
有形固定資産売却益	9	158	+149
投資有価証券売却益	35	19	-16
退職給付信託返還益	-	25	+25
その他	1	21	+20
特別損失	▲ 202	▲ 294	-92
有形固定資産処分損	▲ 80	▲ 61	+19
減損損失	▲ 39	▲ 184	-145
投資有価証券評価損	▲ 1	▲ 25	-24
関係会社事業損失	▲ 36	▲ 7	+29
環境対策費	▲ 26	-	+26
和解金	-	▲ 9	-9
その他	▲ 20	▲ 9	+11
ネット特別損益	▲ 157	▲ 71	+86

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー

億円

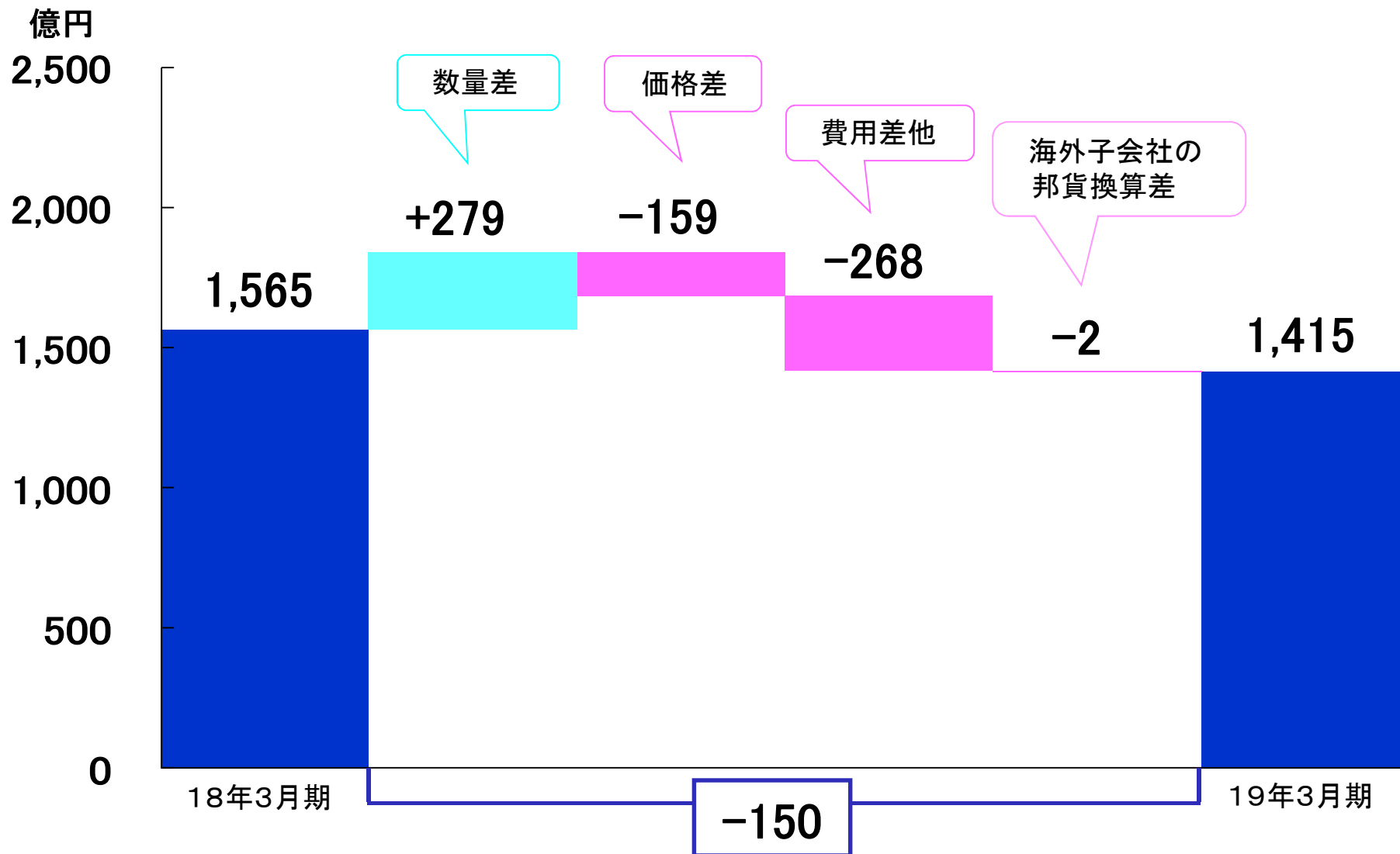
	18年3月末	19年3月末	増減
資産合計	25,759	27,884	+2,124
流動資産	11,270	11,913	+643
有形固定資産	9,270	9,969	+698
無形固定資産	686	1,712	+1,026
投資その他	4,532	4,289	-243

	18年3月末	19年3月末	増減
負債合計	14,067	15,744	+1,677
流動負債	6,765	6,965	+200
固定負債	7,302	8,779	+1,477
純資産合計	11,692	12,139	+448
自己資本	10,907	11,310	+403
自己資本比率	42.3%	40.6%	-1.8 ポイント
有利子負債残高	8,163	9,763	+1,599
D/Eレシオ	0.75	0.86	+0.11

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

	18年3月期	19年3月期	増減
営業活動	1,292	1,762	+471
投資活動	▲1,867	▲2,602	-736
フリー・キャッシュ・フロー	▲575	▲840	-265

営業利益増減要因分析



セグメント別売上高・営業利益

億円

		売上高				営業利益			
		18年 3月期	19年 3月期	増減	(%)	18年 3月期	19年 3月期	増減	(%)
繊維	上期	4,228	5,031	+803	(+19.0%)	355	418	+62	(+17.5%)
	下期	4,908	4,712	-196	(-4.0%)	369	311	-58	(-15.7%)
	通期	9,136	9,743	+607	(+6.6%)	724	729	+5	(+0.6%)
機能化成品	上期	3,907	4,350	+443	(+11.3%)	357	358	+1	(+0.3%)
	下期	4,126	4,339	+213	(+5.2%)	357	319	-38	(-10.6%)
	通期	8,033	8,688	+655	(+8.2%)	714	677	-37	(-5.1%)
炭素繊維複合材料	上期	848	965	+116	(+13.7%)	105	60	-45	(-43.0%)
	下期	931	1,195	+263	(+28.3%)	103	56	-47	(-45.8%)
	通期	1,779	2,159	+380	(+21.3%)	208	115	-92	(-44.4%)
環境・エンジニアリング*	上期	1,152	1,214	+62	(+5.4%)	68	57	-11	(-16.4%)
	下期	1,230	1,363	+132	(+10.7%)	65	65	+1	(+1.0%)
	通期	2,383	2,577	+194	(+8.1%)	133	122	-11	(-7.9%)
ライフサイエンス	上期	262	263	+1	(+0.2%)	14	7	-7	(-51.1%)
	下期	276	274	-2	(-0.8%)	6	6	+1	(+12.0%)
	通期	538	537	-2	(-0.3%)	19	13	-6	(-33.0%)
その他	上期	85	90	+5	(+6.3%)	9	8	-0	(-4.3%)
	下期	94	95	+0	(+0.3%)	20	23	+2	(+11.0%)
	通期	179	185	+6	(+3.2%)	29	31	+2	(+6.5%)
調整額	上期					▲ 127	▲ 131	-4	
	下期					▲ 135	▲ 142	-7	
	通期					▲ 262	▲ 273	-11	
連結	上期	10,482	11,912	+1,430	(+13.6%)	781	777	-4	(-0.5%)
	下期	11,566	11,976	+410	(+3.5%)	784	638	-146	(-18.6%)
	通期	22,049	23,888	+1,840	(+8.3%)	1,565	1,415	-150	(-9.6%)

セグメント別業績(繊維)

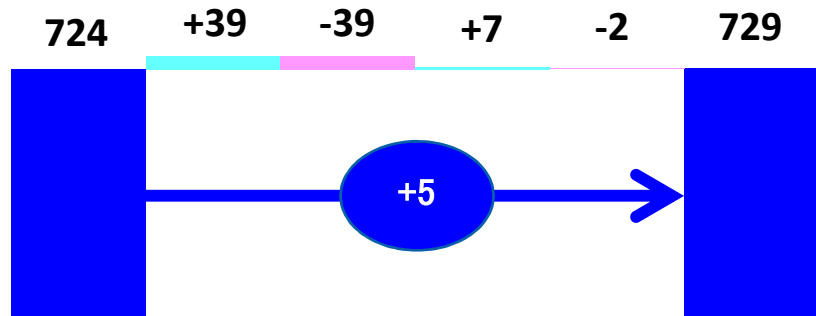
売上高・営業利益

億円

		18年3月期	19年3月期	増減	
売上高	東レ	1,970	1,998	+29	(+1.5%)
	国内	4,560	5,078	+518	(+11.4%)
	海外	5,687	6,065	+378	(+6.6%)
	修正	▲ 3,080	▲ 3,399	-318	
	計	9,136	9,743	+607	(+6.6%)
営業利益	東レ	198	179	-18	(-9.2%)
	国内	126	136	+9	(+7.3%)
	海外	436	420	-16	(-3.7%)
	修正	▲ 36	▲ 6	+30	
	計	724	729	+5	(+0.6%)

営業利益増減

億円



18年3月期 数量差 価格差 費用差 海外子会社 19年3月期
他 の邦貨換算差

概況

全般

- ・原料価格上昇の影響を受けた。

国内

- ・自動車関連など産業用途は総じて需要が堅調なもの、衣料用途は天候不順の影響もあり荷動きは低調に推移する中、各用途での拡販に加え、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの拡大を進めるとともに、事業体質強化に注力。

海外

- ・東南アジアなどの一部子会社の業績が低調だったほか、中国経済減速により、年度後半から自動車関連用途向けなどで需要減速の影響を受けた。
- ・衣料用途では一貫型ビジネスの拡大を推進。

トピックス

- ・19年1月：化学防護服LIVMOA®3000シリーズ(高通気タイプ)がEU型式試験証明書(CEマーキング)を取得。
- ・19年3月：使い切り保護服LIVMOA®のクリーンルーム対応滅菌タイプLIVMOA®CLを開発。

セグメント別業績(機能化成品)

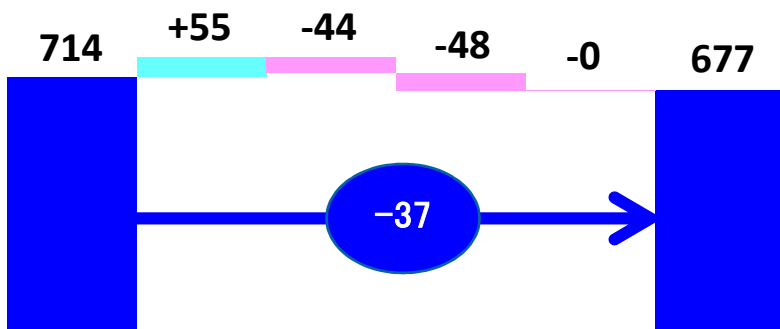
売上高・営業利益

億円

		18年3月期	19年3月期	増減	
売上高	東レ	2,501	2,624	+123	(+4.9%)
	国内	4,562	4,987	+425	(+9.3%)
	海外	5,325	5,734	+409	(+7.7%)
	修正	▲ 4,355	▲ 4,657	-302	
	計	8,033	8,688	+655	(+8.2%)
営業利益	東レ	219	191	-29	(-13.1%)
	国内	139	154	+15	(+10.7%)
	海外	385	354	-31	(-8.2%)
	修正	▲ 30	▲ 22	+9	
	計	714	677	-37	(-5.1%)

営業利益増減

億円



18年3月期 数量差 価格差 費用差 海外子会社の邦貨換算差 19年3月期

概況

樹脂事業

- 自動車用途向けに拡販するとともに、原料価格上昇に対する価格転嫁を推進したが、中国経済減速の影響を受けた。

ケミカル事業

- 基礎原料市況が改善するとともに、ファインケミカル製品も増収となった。

フィルム事業

- リチウムイオン二次電池向けのバッテリーセパレータフィルムが需要の伸長を背景に出荷を拡大したが、原料価格上昇の影響がポリエステルフィルムなど広範にわたった。

電子情報材料事業

- スマートフォン市場の需要鈍化の影響を受けた。

トピックス

- 19年2月：Toray Plastics (America), Inc.におけるポリプロピレンフィルム トレファン®の生産能力増強決定。

機能化成品のサブセグメント別売上高

億円

	18年3月期		19年3月期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
樹脂・ケミカル	3,607	29%	3,825	29%	+6%
フィルム	3,308	27%	3,527	26%	+7%
電子情報材料	640	5%	640	5%	-0%
商事	4,832	39%	5,353	40%	+11%
修正	▲ 4,355	-	▲ 4,657	-	-
合計	8,033		8,688		

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

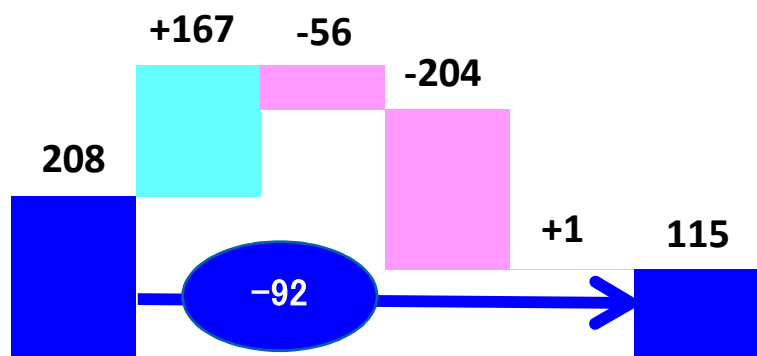
売上高・営業利益

億円

		18年3月期	19年3月期	増減	
売上高	東レ	934	1,100	+165	(+17.7%)
	国内	666	809	+144	(+21.6%)
	海外	1,463	1,945	+482	(+33.0%)
	修正	▲ 1,283	▲ 1,695	-412	
	計	1,779	2,159	+380	(+21.3%)
営業利益	東レ	97	103	+6	(+6.3%)
	国内	15	18	+3	(+20.0%)
	海外	119	92	-27	(-23.0%)
	修正	▲ 23	▲ 97	-74	
	計	208	115	-92	(-44.4%)

営業利益増減

億円



18年3月期 数量差 価格差 費用差 海外子会社
他の邦貨換算差 19年3月期

概況

全般

- ・原料価格の上昇や競合激化の影響を受けたほか、海外のコンポジット子会社で新規案件立ち上げに伴う費用が増加し、TenCate Advanced Composites Holding B.V.の全株式取得に関連する費用も発生。

航空宇宙用途

- ・航空機向けサプライチェーンでの在庫調整が完了したことを受け、需要は概ね堅調に推移。

一般産業用途

- ・圧縮天然ガスタンクや風力発電翼などの環境・エネルギー関連向けを中心に、全体として需要が回復傾向。

トピックス

- ・19年3月： TenCate Advanced Compositesの事業ブランド名を「Toray Advanced Composites (TAC)」に変更することを発表。

炭素繊維複合材料のサブセグメント別売上高

億円

	18年3月期		19年3月期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	821	46%	969	45%	+18%
スポーツ	156	9%	175	8%	+12%
一般産業	802	45%	1,014	47%	+26%
合計	1,779		2,159		+21%

セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

売上高・営業利益

億円

		18年3月期	19年3月期	増減	
売上高	東レ	232	241	+10	(+4.1%)
	国内	2,849	3,076	+227	(+8.0%)
	海外	309	322	+12	(+3.9%)
	修正	▲ 1,008	▲ 1,062	-55	
	計	2,383	2,577	+194	(+8.1%)
営業利益	東レ	4	▲ 19	-23	(-)
	国内	98	103	+5	(+4.6%)
	海外	30	40	+10	(+32.4%)
	修正	0	▲ 1	-1	
	計	133	122	-11	(-7.9%)

概況

水処理事業

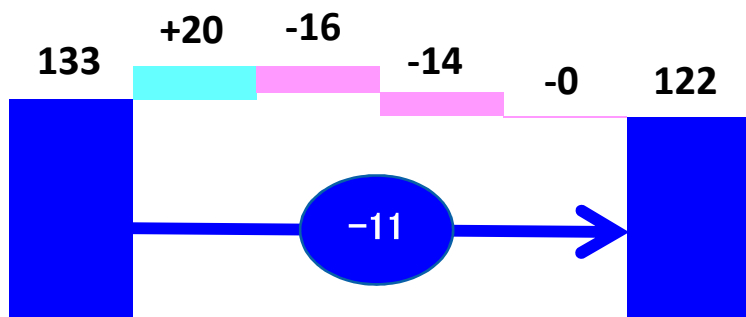
- ・国内外で逆浸透膜などの需要が概ね堅調に推移。

国内子会社

- ・商事子会社の取扱高が増加。
- ・海外のエンジニアリング子会社において、大型プラント工事案件が終了した影響を受けた。

営業利益増減

億円



18年3月期 数量差 価格差 費用差 海外子会社 19年3月期
他の邦貨換算差

トピックス

- ・19年2月：オリックス株、中国水務集团有限公司と中国で飲料水の処理設備を製造・販売する合弁会社を設立。
- ・19年2月：PVDF製限外ろ過(UF)膜の微細分離・高透水化技術を開発。

セグメント別業績(ライフサイエンス)

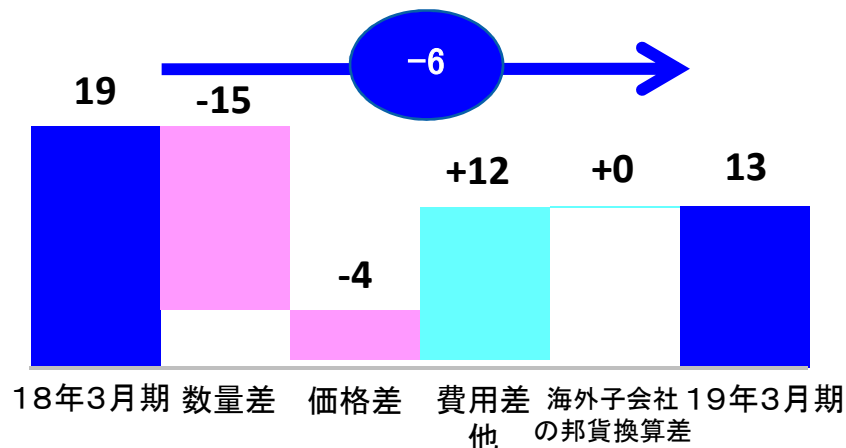
売上高・営業利益

億円

		18年3月期	19年3月期	増減	
売上高	東レ	280	255	-25	(-9.1%)
	国内	405	416	+11	(+2.8%)
	海外	118	130	+11	(+9.6%)
	修正	▲ 266	▲ 264	+1	
	計	538	537	-2	(-0.3%)
営業利益	東レ	▲ 5	▲ 12	-7	(-)
	国内	13	16	+3	(+22.1%)
	海外	▲ 1	2	+3	(-)
	修正	13	8	-5	
	計	19	13	-6	(-33.0%)

営業利益増減

億円



概況

医薬事業

- ・経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー®が海外向けに数量を拡大したものの、国内では後発医薬品や薬価改定の影響を受けた。
- ・経口そう痒症改善薬レミッチ®*は、後発医薬品発売の影響を受けた。

医療機器事業

- ・ダイアライザーが国内保険償還価格引き下げと原料価格上昇の影響を受けたが、国内外で堅調に数量を伸ばした。
- ・透析装置も数量を拡大。

* レミッチ®は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

トピックス

- ・19年1月: Meiji Seika ファルマ(株)とそう痒症改善剤「TRK-820」のタイ、インドネシアにおけるライセンス契約締結。
- ・19年2月: 核酸医薬品「TRK-250」が米国FDAによりオーファンドラッグ(希少疾病用医薬品)に指定。

主要子会社・地域の収益状況

億円

	売上高			営業利益			
	18年3月期 年間実績	19年3月期 年間実績	増減	18年3月期 年間実績	19年3月期 年間実績	増減	
東レインターナショナル	5,877	6,629	+752	123	141	+17	
東レエンジニアリング	1,054	1,151	+97	58	54	-4	
東レ建設	547	561	+15	15	22	+7	
東レフィルム加工	419	405	-14	31	33	+2	
在東南アジア・子会社	繊維	1,351	1,527	+176	91	76	-15
	機能化成品	1,100	1,151	+51	121	82	-39
	その他	2	2	+1	0	0	+0
	計	2,452	2,680	+228	212	158	-54
在中国・子会社	繊維	2,735	2,861	+125	235	245	+9
	機能化成品	1,016	1,042	+25	32	34	+2
	その他	302	335	+33	9	14	+6
	計	4,054	4,237	+183	276	293	+17
在韩国・子会社	繊維	995	1,039	+43	31	20	-11
	機能化成品	1,403	1,599	+196	174	197	+23
	その他	184	243	+59	21	24	+3
	計	2,582	2,881	+299	226	241	+15

セグメント別営業利益3Qvs4Q比較

セグメント	営業利益(億円) 3Q実績→4Q実績 ()内差異	増減益要因
繊維	185→126 (-60)	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料用途は、国内外の商事子会社およびアジアのテキスタイル子会社がオフシーズンで低調に推移。 ・産業用途は、エアバッグ用基布およびPPスパンボンドの需要が弱含んだ。
機能化成品	162→157 (-4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ケミカル事業では、基礎原料およびファインケミカル製品の販売が減少。 ・フィルム事業では、バッテリーセパレータフィルムの販売が堅調に推移。 ・電子情報材料事業では、スマートフォン市場の成長鈍化の影響を受け、関連製品の出荷が低調に推移。
炭素繊維 複合材料	24→32 (+8)	<ul style="list-style-type: none"> ・航空宇宙用途は、需要が堅調に推移し、販売量が増加。 ・一般産業用途は、圧縮天然ガスや風力発電翼用途などの環境・エネルギー関連向けを中心に、出荷は堅調に推移。
環境・ エンジニアリング	22→43 (+21)	<ul style="list-style-type: none"> ・水処理事業では、RO膜の出荷が堅調に推移。 ・エンジニアリング子会社のプラント工事が順調に進捗し、エレクトロニクス関連装置の出荷も増加。
ライフサイエンス	6→1 (-5)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器事業では、一部の医療機器の販売が低調に推移。
その他	9→13 (+4)	
調整額	▲61→▲81 (-20)	
合計	347→291 (-56)	

Ⅱ. 2020年3月期連結業績見通し

2020年3月期連結業績見通し

億円

		19年3月期 実績	20年3月期 見通し	増減	
売上高	上期	11,912	12,100	+188	(+1.6%)
	下期	11,976	13,200	+1,224	(+10.2%)
	通期	23,888	25,300	+1,412	(+5.9%)
営業利益	上期	777	700	-77	(-9.9%)
	下期	638	900	+262	(+41.1%)
	通期	1,415	1,600	+185	(+13.1%)
経常利益	上期	774	670	-104	(-13.4%)
	下期	571	880	+309	(+54.1%)
	通期	1,345	1,550	+205	(+15.2%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	上期	485	390	-95	(-19.6%)
	下期	309	540	+231	(+74.9%)
	通期	794	930	+136	(+17.2%)
1株当たり 当期純利益	上期	30.32円	24.38円		
	下期	19.29円	33.75円		
	通期	49.61円	58.13円		
1株当たり 配当金	上期	8円	8円		
	下期	8円	8円		
	通期	16円	16円		

為替レート的前提：110円/US\$

セグメント別連結業績見通し

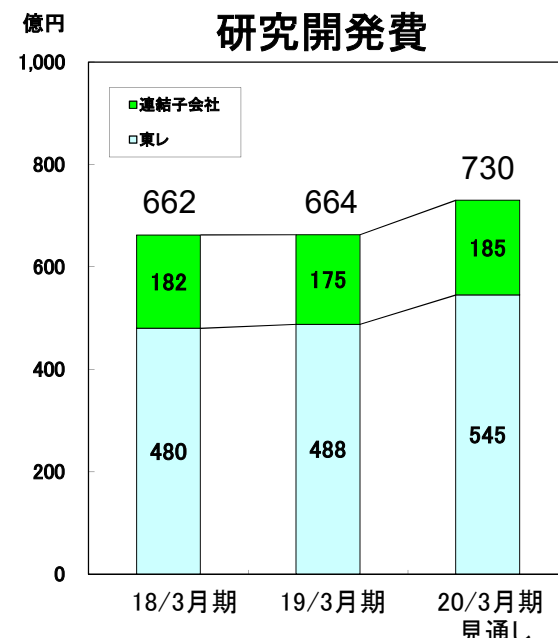
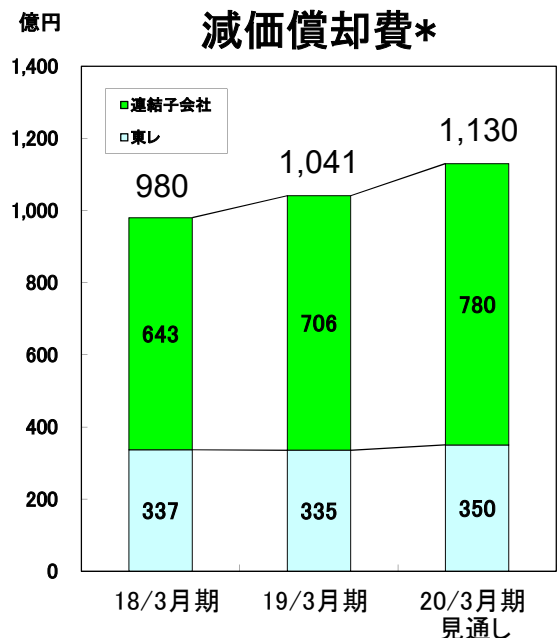
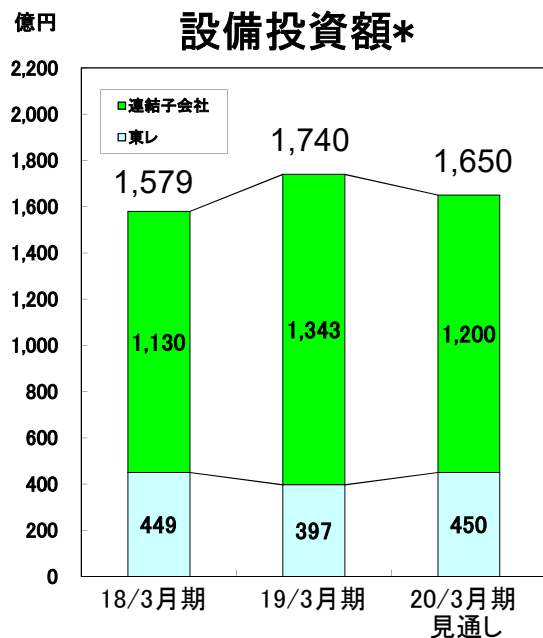
億円

		19年3月期 実績			20年3月期 見通し			増減		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	繊維	5,031	4,712	9,743	4,800	5,200	10,000	-231	+488	+257
	機能化成品	4,350	4,339	8,688	4,500	4,850	9,350	+150	+511	+662
	炭素繊維複合材料	965	1,195	2,159	1,200	1,300	2,500	+235	+105	+341
	環境・エンジニアリング	1,214	1,363	2,577	1,250	1,450	2,700	+36	+87	+123
	ライセンス	263	274	537	270	280	550	+7	+6	+13
	その他	90	95	185	80	120	200	-10	+25	+15
	合計	11,912	11,976	23,888	12,100	13,200	25,300	+188	+1,224	+1,412
営業利益	繊維	418	311	729	320	380	700	-98	+69	-29
	機能化成品	358	319	677	380	430	810	+22	+111	+133
	炭素繊維複合材料	60	56	115	80	140	220	+20	+84	+105
	環境・エンジニアリング	57	65	122	40	100	140	-17	+35	+18
	ライセンス	7	6	13	0	0	0	-7	-6	-13
	その他	8	23	31	10	20	30	+2	-3	-1
	調整額	▲ 131	▲ 142	▲ 273	▲ 130	▲ 170	▲ 300	+1	-28	-27
合計	777	638	1,415	700	900	1,600	-77	+262	+185	

セグメント別営業利益19年3月期vs20年3月期比較

セグメント	営業利益(億円) 19年3月期→20年3月期 ()内差異	増減益要因
繊維	729→700 (-29)	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料用途は、各用途における拡販、高付加価値化に取り組むが、2018年暖冬の影響による2019年秋冬物商売の苦戦を見込む。 ・産業用途は、PPスパンボンド、エアバッグ、人工皮革等の増設設備を活用し、拡販を図る。
機能化成品	677→810 (+133)	<ul style="list-style-type: none"> ・樹脂事業では、ABS樹脂は高機能品の拡販、エンブラは自動車用途等への拡販を推進。 ・フィルム事業では、バッテリーセパレータフィルムやMLCC離型フィルムなどの成長分野での拡販を推進。 ・電子情報材料事業では、有機EL関連材料や回路材料などの拡販を推進。
炭素繊維 複合材料	115→220 (+105)	<ul style="list-style-type: none"> ・航空宇宙用途は、大手顧客の生産機数引き上げに対応して出荷の拡大を見込む。 ・一般産業用途は、環境・エネルギー関連用途を中心に拡販を推進。 ・海外のコンポジット子会社はコストダウンを推進。
環境・ エンジニアリング	122→140 (+18)	<ul style="list-style-type: none"> ・水処理事業は、グローバルで需要が拡大するRO膜をはじめとした膜ビジネスの拡販を図る。
ライフサイエンス	13→0 (-13)	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬事業は、経口そう痒症改善薬レミッチ[®]が、後発医薬品の影響を受ける見込み。 ・医療機器事業は、透析関連製品の拡販を推進するも、価格競争が激化、加えて一部の製品の需要減少が継続する見通し。
その他	31→30 (-1)	
調整額	▲273→▲300 (-27)	* レミッチ [®] は鳥居薬品株式会社の登録商標です。
合計	1,415→1,600 (+185)	

設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移



*有形固定資産・無形固定資産(のれんを除く)の合計

主な設備投資案件

- | | | |
|------------|--|----------------------------------|
| 【2019年3月期】 | Toray Battery Separator Film Korea Limited | : バッテリーセパレータフィルム“セティーラ®”設備 |
| | Zoltek Companies, Inc. | : ラージトウ“ZOLTEK™”炭素繊維設備 |
| | Alcantara S.p.A. | : “Alcantara®”設備 |
| | Toray BSF Coating Korea Limited | : バッテリーセパレータフィルム“セティーラ®”コーティング設備 |
| 【2020年3月期】 | Alcantara S.p.A. | : “Alcantara®”設備 |
| | Zoltek Companies, Inc. | : ラージトウ“ZOLTEK™”炭素繊維設備 |
| | Toray Plastics (Malaysia) Sdn. Berhad | : ABS樹脂トヨラック®設備 |

Ⅲ. “プロジェクト AP-G 2019”の進捗状況

“プロジェクト AP-G 2019”の進捗状況

3つの基本戦略

1. 成長分野での事業拡大

グリーンイノベーション事業拡大
(GR)プロジェクト

ライフイノベーション事業拡大
(LI)プロジェクト

2. グローバルな事業の拡大・高度化

成長国・地域での収益機会を取り込むことで、グローバルに事業を拡大

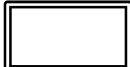
3. 競争力強化

トータルコストダウン

事業体質強化

営業力強化

トータルコスト競争力
強化(TC)プロジェクト

 :グループ横断プロジェクト

“プロジェクト AP-G 2019”の進捗状況

グリーンイノベーション事業拡大(GR)プロジェクト

2018年度の主な取り組み

<GHG排出削減>

■ Zoltek Companies, Inc.において、ラージトウ炭素繊維の生産設備増強を決定(18年4月)

・ハンガリー工場において、5千トンの生産能力増強決定。2020年度初頭生産開始予定。

■ 高圧縮強度・高弾性率を両立させた炭素繊維トレカ®MXシリーズの展開(18年11月)

・今後さらなるラインナップ拡充を目指すとともに、同炭素繊維を使用した高性能中間基材(プリプレグ)を展開。

<バイオマス由来>

■ 世界最高水準の植物由来原料比率を実現したスエード調人工皮革「Ultrasuede®BX」の発売を発表(18年11月)

・世界最高水準となる約30%の植物由来原料比率を実現。

<水処理>

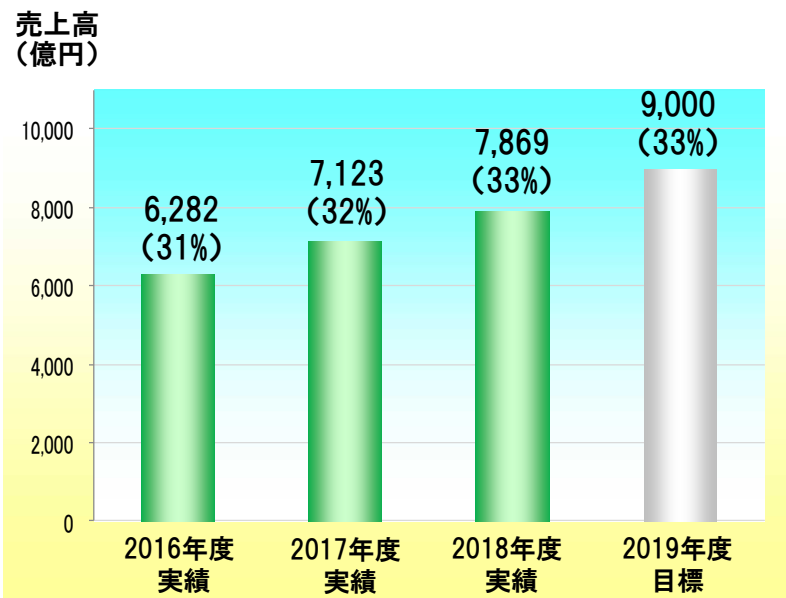
■ 下排水処理に最適な逆浸透(RO)膜エレメント「ロメンブラ®TLFシリーズ」を開発(18年7月)

・2018年4月より販売開始、2018年7月の水処理展示会“SIWW”で展示。



グリーンイノベーション事業の売上高推移

()内は、全社売上高に占める割合



“プロジェクト AP-G 2019”の進捗状況

ライフイノベーション事業拡大(LI)プロジェクト

2018年度の主な取り組み

<先端材料のLI展開>

■長期間の心電図測定を目指した「hitoe®ウェアラブル心電図測定システム」の販売開始(18年9月)

- ・日本電信電話(株)と共同開発した生体情報の連続計測を可能とする医療用「hitoe®ウェアラブル心電図測定システム」を開発、販売開始。

■化学防護服LIVMOA®3000シリーズがEU型式試験証明書(CEマーキング)を取得(19年1月)

■使い切り保護服LIVMOA®のクリーンルーム対応滅菌タイプLIVMOA®CLの開発(19年3月)

<医薬・医療機器>

■弁形成術用カテーテル「大動脈弁用イノウエ・バルーン」の新タイプを販売開始(18年9月)

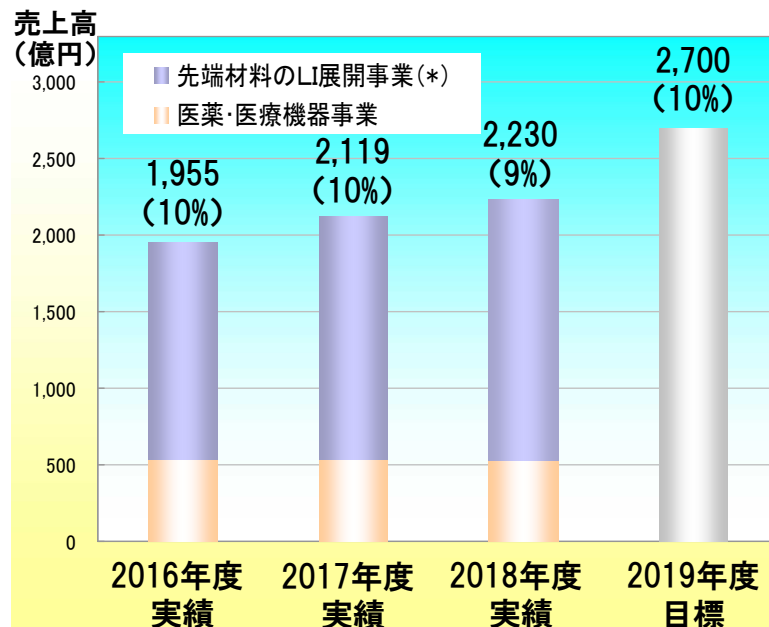
- ・「大動脈弁用イノウエ・バルーン」のカテーテルタイプIIを18年9月から販売開始。

■そう痒症改善剤「TRK-820」のタイ、インドネシアにおけるライセンス契約締結(19年1月)

- ・Meiji Seika ファルマ(株)との間で「TRK-820」に関する独占的ライセンス契約(タイ・インドネシアでの独占的開発・販売)を締結。

ライフイノベーション事業の売上高推移

()内は、全社売上高に占める割合



(*) 東レグループ概算

“プロジェクト AP-G 2019”の進捗状況

グローバルな事業の拡大・高度化

2018年度の主な取り組み

■インドにおける樹脂コンパウンド拠点の新設を決定 (18年4月)

- ・アンドラ・プラデシュ州シリシティーの事業拠点に年産約5千トンの設備を導入、2019年9月稼働開始予定。

■マレーシア子会社におけるABS樹脂トヨラック®の生産能力増強を決定(18年12月)

- ・Toray Plastics (Malaysia) Sdn. Berhadで年産7万5千トンの生産設備を増設、2020年11月稼働開始予定。

■米国子会社におけるポリプロピレンフィルムトレファン®の生産能力増強を決定(19年2月)

- ・Toray Plastics (America), Inc. で年産3万トンの生産設備を増設、2020年稼働開始予定。

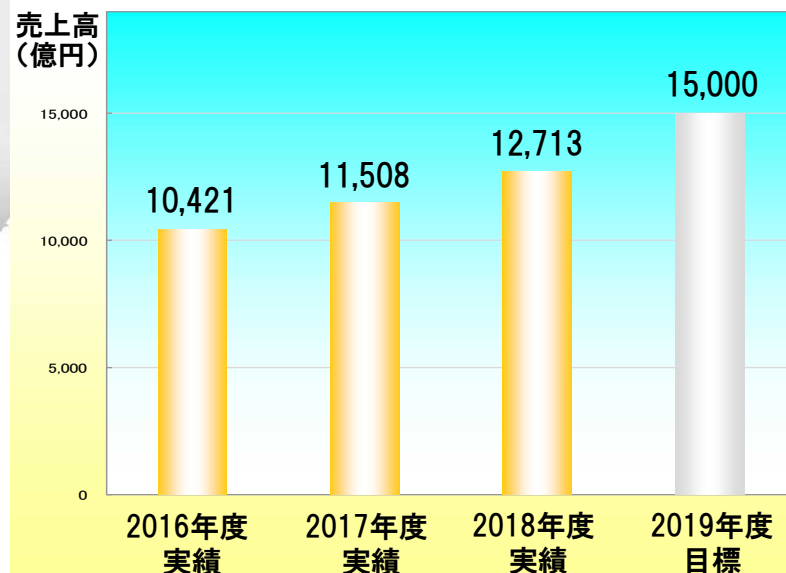
■中国における飲料水処理設備製造・販売会社設立を決定(19年2月)

- ・オリックス(株)、中国水務集团有限公司と中国で飲料水の処理設備を製造・販売する合弁会社を設立。

グローバルな事業の拡大・高度化

<海外売上高推移(海外連結子会社の売上高単純合計)>

*過去分も100円/ドル前提に換算



“プロジェクト AP-G 2019”の進捗状況

競争力強化

トータルコストダウン

- 東レグループ横断のトータルコスト競争力強化(TC)プロジェクトを推進し、3年間で合計2,200億円のコスト削減を目指す
- 比例費削減活動(毎年3.6%以上を目標)
- P値管理による固定費管理の徹底(毎年P値(*)0.96以下)
- 生産プロセス革新では、「革新的コストダウン」「大型トータルコストダウン」「既設増能力」の 카테고리毎のテーマを掘り起こし、3年間で500億円以上の効果を目指とする

2018年度実績

- 比例費: 316億円削減
(削減率3.3%)
- 固定費: 349億円削減
(P値=1.03)
- 生産プロセス革新: 176億円削減

841億円の削減

事業体質強化

- 収益性に問題のある会社・事業の課題を明確化し、収益改善に向け総力結集
→市場の成長性や競合状況によっては、撤退・縮小も選択肢とする
- 資産を効率的に活用し、収益を拡大

- Toray Advanced Materials Korea Inc. が2019年4月1日にToray Chemical Korea Inc. を吸収合併。更なるシナジー創出と効率化を目指す。

営業力強化

- 営業は、生産・技術・研究や社外パートナーと連携して、「儲ける仕組み」作りを主導
- 既存事業は、価格政策、商流、ブランド施策の改善により収益を最大化

- 2018年7月に買収したTenCate Advanced Composites Holding B.V. の事業ブランド名を「Toray Advanced Composites」に統一。

* : P(Performance)値 = 固定費増加率 / 限界利益増加率 1.0以下もしくは予算との対比で事業毎に管理

業績指標

億円

	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 見通し	2019年度 目標
売上高	22,049	23,888	25,300	27,000
営業利益	1,565	1,415	1,600	2,500
営業利益率	7.1%	5.9%	6.3%	9%
ROA	6.3%	5.3%	約6%	約9%
ROE	9.1%	7.1%	約8%	約12%

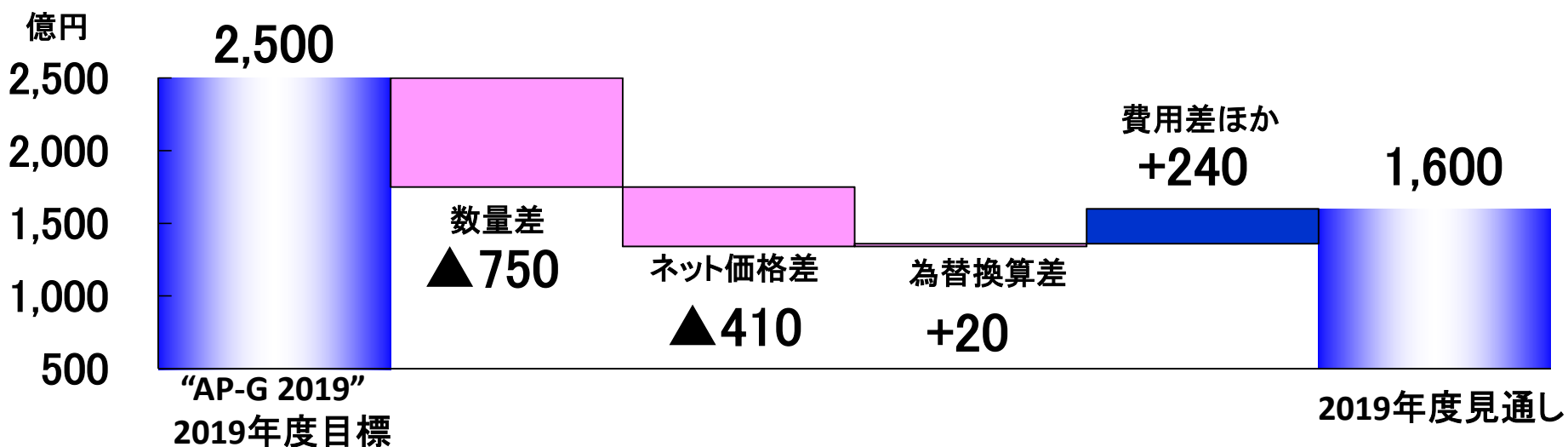
“AP-G 2019”為替レート前提: 100円/US\$

ROA = 営業利益 / 総資産
 ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 / 自己資本

“プロジェクト AP-G 2019” 目標と2019年度見通しの差異

億円

	売上高			営業利益		
	“AP-G 2019” 目標	2019年度 見通し	差異	“AP-G 2019” 目標	2019年度 見通し	差異
繊維	11,200	10,000	-1,200	920	700	-220
機能化成品	9,500	9,350	-150	1,030	810	-220
炭素繊維複合材料	2,600	2,500	-100	450	220	-230
環境・エンジニアリング	2,700	2,700	±0	200	140	-60
ライフサイエンス	800	550	-250	90	0	-90
その他	200	200	±0	30	30	±0
調整額	-	-	-	▲ 220	▲ 300	-80
合計	27,000	25,300	-1,700	2,500	1,600	-900



IV. 參考資料

従業員数、関係会社の異動

従業員数		人	
	18年3月末	19年3月末	増減
東レ単体	7,625	7,585	-40
国内連結子会社	10,590	10,563	-27
海外連結子会社	27,547	30,172	+2,625
合計	45,762	48,320	+2,558

関係会社の異動		社		
		18年3月末	19年3月末	増減
連結子会社 (a)	国内	61	61	±0
	海外	101	124	+23
	計	162	185	+23
持分法適用子会社 (b)	国内	26	26	±0
	海外	34	29	-5
	計	60	55	-5
子会社計 (a) + (b)	国内	87	87	±0
	海外	135	153	+18
	計	222	240	+18
持分法適用関連会社 (c)	国内	13	14	+1
	海外	22	21	-1
	計	35	35	±0
連結対象会社 合計 (a) + (b) + (c)	国内	100	101	+1
	海外	157	174	+17
	計	257	275	+18

セグメント別四半期売上高推移

億円

	18年3月期					19年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計
繊維	2,011	2,217	2,748	2,160	9,136	2,210	2,821	2,580	2,132	9,743
機能化成品	1,912	1,995	2,090	2,036	8,033	2,124	2,225	2,199	2,140	8,688
炭素繊維複合材料	427	421	434	497	1,779	457	507	578	616	2,159
環境・エンジニアリング	569	584	557	674	2,383	549	665	632	731	2,577
ライフサイエンス	122	140	136	140	538	126	136	139	134	537
その他	40	45	42	53	179	41	49	42	52	185
合計	5,081	5,401	6,006	5,560	22,049	5,508	6,404	6,171	5,805	23,889

セグメント別四半期営業利益推移

億円

	18年3月期					19年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計
繊維	176	179	230	139	724	185	233	185	126	729
機能化成品	166	190	200	156	714	172	186	162	157	677
炭素繊維複合材料	57	48	46	57	208	31	29	24	32	115
環境・エンジニアリング	43	25	25	39	133	19	39	22	43	122
ライセンス	8	5	6	▲ 0	19	2	5	6	1	13
その他	2	6	8	12	29	2	6	9	13	31
調整額	▲ 64	▲ 63	▲ 63	▲ 72	▲ 262	▲ 71	▲ 60	▲ 61	▲ 81	▲ 273
合計	389	392	453	331	1,565	339	438	347	291	1,415

機能化成品サブセグメント別四半期売上高推移

億円

	18年3月期					19年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
樹脂・ケミカル	864	877	913	953	3,607	979	973	969	904	3,825
フィルム	771	831	850	857	3,308	855	889	913	869	3,527
電子情報材料	146	167	175	152	640	143	183	165	149	640
商事	1,162	1,181	1,246	1,244	4,832	1,355	1,371	1,357	1,269	5,353
修正	▲ 1,031	▲ 1,061	▲ 1,093	▲ 1,169	▲ 4,355	▲ 1,209	▲ 1,191	▲ 1,205	▲ 1,052	▲ 4,657
合計	1,912	1,995	2,090	2,036	8,033	2,124	2,225	2,199	2,140	8,688

炭素繊維複合材料サブセグメント別四半期売上高推移

億円

	18年3月期					19年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
航空宇宙	204	196	203	219	821	193	225	265	287	969
スポーツ	38	38	43	38	156	41	39	52	43	175
一般産業	186	187	188	241	802	223	243	262	287	1,014
合計	427	421	434	497	1,779	457	507	578	616	2,159

主要子会社・地域の四半期売上高推移

億円

	18年3月期					19年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計
東レインターナショナル	1,309	1,364	1,864	1,339	5,877	1,463	1,885	1,830	1,451	6,629
東レエンジニアリング	299	217	274	263	1,054	240	306	279	326	1,151
東レ建設	86	164	118	179	547	101	122	149	190	561
東レフィルム加工	101	110	113	95	419	97	105	108	95	405

在東南アジア・ 子会社	繊維	321	338	361	330	1,351	379	402	398	349	1,527
	機能化成品	263	274	278	284	1,100	296	304	291	260	1,151
	その他	0	0	0	1	2	1	1	1	0	2
	合計	585	613	640	615	2,452	676	706	689	610	2,680
在中国・ 子会社	繊維	652	707	797	578	2,735	755	825	774	508	2,861
	機能化成品	237	260	267	252	1,016	270	275	265	232	1,042
	その他	67	77	88	70	302	86	78	97	74	335
	合計	956	1,045	1,153	901	4,054	1,111	1,178	1,135	814	4,237
在韩国・ 子会社	繊維	227	251	258	260	995	255	279	261	245	1,039
	機能化成品	312	353	368	369	1,403	359	408	414	417	1,599
	その他	45	44	46	49	184	70	55	61	57	243
	合計	584	648	672	678	2,582	684	741	736	719	2,881

主要子会社・地域の四半期営業利益推移

億円

	18年3月期					19年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計
東レインターナショナル	23	33	45	22	123	26	43	44	27	141
東レエンジニアリング	36	4	11	7	58	5	18	6	25	54
東レ建設	▲0	6	2	8	15	4	7	9	2	22
東レフィルム加工	6	7	11	6	31	7	10	9	8	33

在東南アジア・ 子会社	繊維	22	22	28	20	91	22	20	24	11	76
	機能化成品	23	31	33	34	121	32	23	11	16	82
	その他	0	▲0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	45	53	60	54	212	53	42	35	27	158
在中国・ 子会社	繊維	66	66	67	38	235	75	73	60	37	245
	機能化成品	5	8	8	10	32	8	10	9	8	34
	その他	3	3	1	2	9	5	3	5	1	14
	合計	74	77	76	50	276	88	85	73	47	293
在韩国・ 子会社	繊維	9	7	9	6	31	10	5	5	▲1	20
	機能化成品	37	53	50	34	174	31	53	55	58	197
	その他	6	4	5	5	21	7	5	8	5	24
	合計	51	64	64	46	226	48	63	68	62	241

本資料中の2020年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。